

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2006～2009
課題番号：18530341
研究課題名（和文） 公的部門の監査・政策評価における監査人の会計倫理についての国際比較研究
研究課題名（英文） A comparative study of the auditor's ethics in public sector

研究代表者
吉見 宏（YOSHIMI HIROSHI）
北海道大学・大学院経済学研究科・教授
研究者番号：90222398

研究分野：会計学
科研費の分科・細目：経営学・会計学
キーワード：会計学、監査論、公会計、公監査、会計倫理

1. 研究計画の概要

（1）本研究は、近年の監査に対する注目の高まりの中で、特に重視されている監査人の会計倫理の問題を検討するものであり、中でも公的部門の監査における監査人の会計倫理を検討する。

（2）この部分についての研究は我が国ではたいへん少ない。ここでは、公的部門に広く公私中間形態の組織も含め、これを国際比較の観点から検討する。

（3）そこでは、いかなる倫理観が必要とされるのか、その涵養のための方法(教育方法)、制度化にあたって必要な点について分析、提言を行う。

2. 研究の進捗状況

（1）本研究は、初年度にあつては主として国内部分に係る基礎的な資料収集と分析を行っている。この中では、監査及び会計の関連する基礎的な研究、会計職業倫理についての基礎理論の再検討を行っている。後者については、学会において関連する報告を行っている。また、海外研究についても関連資料収集を始めている。

（2）第2年度においては、資料収集と分析の対象を海外部分に広げ、主として欧州、オーストラリア及びニュージーランドについてこれらを行った。また、会計専門職により倫理を保持する際の教育の問題、会計専門職による監査に影響を与える近年の問題(特に、非財務情報の監査の拡大についての諸問題)を検討している。

（3）第3年度においては、これまでの検討より、学会における報告、および各雑誌等への論文掲載を進めている。これらは、特に国

内部分に係るものが多いが、特に地方公共団体の会計及び監査の問題（会計基準の設定のありかた、財務諸表のディスクロージャー、自治体間の財務諸表の比較可能性等）と、その監査人との関連を検討している。

なお、以上にあたっては、国際比較部分について、専門家からの意見徴収（学会、国際カンファレンス等による機会の利用を含む）による資料の検討と、最終的な研究成果の総合に向けた整理も含んでいる。以上のように、ここまでは、監査を行う会計専門職の資質、特に倫理的側面、公会計および監査の現状とその問題点を分析しており、その成果を公表してきている段階にある。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に推移している。
(評価の理由)

本研究の目的は、公監査における監査人の倫理問題を検討することであり、この点で、3年目までに関連する資料収集等を終え、また監査人(会計専門職)の倫理についての一般的な検討、および公監査における現状の問題点を検討し、これらの一部はすでに論文等の形で公表されている。これらは、事前に計画されたこととほぼ一致して推移しており、以上により研究はおおむね順調に推移し、達成されていると評価する。

4. 今後の研究の推進方策

第4年度は本研究の最終年度であり、研究及びその成果をまとめねばならない。研究の一部については、国際カンファレンスにおいて最終年度の早い時期に研究報告することを予定し準備している。以上と第3年度まで

の成果をもとに、最終年度では国際比較部分を中心にまとめ、特に公監査に関わる国際的な会計専門職の倫理規則との実務上の整合性を検討することとしている。以上をもとに、研究を総括することになる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 5 件)

- ①吉見宏、会計理論の需要と発展—制度批判から理論批判へ—、会計理論学会年報、21、1-10、2007、査読有。
- ②吉見宏、非財務情報の開示の動向と監査役監査に与える影響、監査役、533、18-23、2007、査読無。
- ③吉見宏、監査における判断の拡大とその教育上の課題、現代監査、18、37-43、2008、査読無。
- ④吉見宏、非財務情報の監査—企業価値の向上に向けて—、會計、173(4)、69-80、2008、査読無。
- ⑤吉見宏、北海道における会計基準の策定と固有の会計処理—北海道会計指針(案)を中心に—、公会計研究、10(1)、57-67、2008、査読無。

[学会発表] (計 5 件)

- ①「職業倫理」日本監査研究学会第 29 回大会特別報告、2006 年 9 月 17 日、於愛知大学。
- ②「北海道会計指針の策定と公会計固有の勘定科目」国際公会計学会第 10 回大会自由論題報告、2007 年 9 月 8 日、於九州産業大学。
- ③「監査における判断の拡大とその教育上の課題」日本監査研究学会第 30 回大会統一論題報告、2007 年 9 月 15 日、於関東学院大学。
- ④“The Disclosure and Auditing Limitation in Public Sector: The Case of Japanese Police Service”, in 2nd Conference of Culture & Accounting, October 19th, 2007 at Kumamoto Gakuen University.

- ⑤「自治体連結財務諸表の比較可能性—北海道、札幌市を例として—」国際公会計学会第 11 回大会統一論題報告、2008 年 9 月 19 日、於兵庫県立大学。

[図書] (計 2 件)

- ①吉見宏、環境報告書の保証に関する理論的考察、上妻義直編著『環境報告書の保証』同文館出版、10-27、2006。
- ②吉見宏、公的部門の会計と複式簿記、藤田昌也編著『会計利潤のトポロジー』同文館出版、189-203、2008。

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

[その他]